

# スターチスの花を使った「いけばな街道」で認知症へのやさしい理解

- 企業名 NPO法人フラワー・サイコロジー協会
- 取組の名称 スターチスの花を使った「いけばな街道」で認知症へのやさしい理解
- 分類 2 社会貢献活動
- 共同宣言 4 認知症になっても社会の担い手として活躍することを応援します  
7 認知症の方を支える人たちを応援します

認知症の方や高齢者など社会とつながりにくい人々が、認知症ケアや心理療法に花を活用する『いけばな療法』を通じて、社会、地域、そして、文化に積極的に関わる事で、誰もがその人らしく社会で役割を持ち活躍できる機会を得ることができる。



途絶えぬ記憶、変わらぬ心の花ことばを持つ「スターチス」の花を使用しました。

いけばな療法再開発では、感染予防対策を徹底して、認知症高齢者の方たちがいけばなを作成しました。

スターチスの花を使ったいけばなの画像をSNSで募集。#いけばな街道2020をつけて投稿。624枚の画像が集まりました。

夏祭り・夜景ここにありませぬ。～WITHコロナ時代の鳥居本の更なる挑戦～

いけばなの展示風景や認知症の方のいけばな制作風景をライブ配信しました。

スターチスの提供と協力：JA紀州・JA北空知広域連・フローリストコロナ・株式会社メリクロン

いけばなの作成には、オンラインで、学生や遠方の見学者も参加いたしました。参加高齢者施設、福祉施設、医療機関は27団体。

華道家、大学生、国内外の各地から、スターチスを投稿しておもいやりをつなごう！という活動が広がり、拡散していきました。

大学生が中心となり、いけばな街道を例年開催している嵯峨鳥居本地域の取材とオンラインライブツアーを行いました。

スターチス生産者、SNS投稿参加者、施設職員、ボランティア協力者もWEB会議システムに参加して同じ時間を楽しみました。

『いけばな街道』は、社会参加が困難な認知症の人と一緒に『いけばな療法』を用いた、いけばな制作に取り組み、作品を地域社会で展示する活動である。活動を関連する団体が協働で行うことで、互いのネットワークを広げ、同じ目的に向かって進む人々の思いがつながり良い循環が起きている。



## いけばなを通じて多種多様な人が社会参加

『いけばな街道』では「途絶えぬ記憶」「変わらぬ心」という花言葉を持つスターチスの花を使用することで、おもいやりをつなぐ花、優しい社会を象徴する花として発信している。



**多種多様な人に関心を持ってもらう**  
**対象地域 京都市から始まり全国に展開中**